

[012] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10258>

出版情報：語文研究. 12, 1961-04-30. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

行事その他

講義題目 昭和35年度 第二学期 (自昭和3635年10月 至昭和3635年3月)

| | | |
|-------|------------------------|--------|
| (大学院) | 国語学演習 (古事記) | 福田 教授 |
| (大学院) | 国語学演習 (万葉集) | 福田 教授 |
| () | 国語学概論 | 福田 教授 |
| (大学院) | 国文学演習 (風俗文選) | 中村 教授 |
| (学部) | 国文学 (近世文学史) | 中村 教授 |
| (学部) | 国文学演習 (万の文反古) | 中村 教授 |
| (大学院) | 国語学演習 (東大寺諷誦文稿) | 春日 助教授 |
| (大学院) | 国語学演習 (今昔物語集卷二十三) | 春日 助教授 |
| (学部) | 国語学 (日本文法 + 平安朝の音韻と文法) | 春日 助教授 |
| (大学院) | 国文学演習 (後撰集) | 今井 助教授 |
| (学部) | 国文学講読 (枕草子) | 今井 助教授 |
| () | 国文学 (平安朝文学史) | 今井 助教授 |
| () | 国文学 (近代作家の比較文学的研究) | 重松 助教授 |

一第九回西日本国語国文学会総会並びに研究発表会

(昭和34年10月16・17日於北九州大学)

九大関係の発表者は次の通りである。(発表順)
助動詞「つろう」その方言化について

| | | |
|-------------------------|--------|-------|
| 源氏物語における色好みの再検討 | 戸畑中央高校 | 篠崎 久躬 |
| 幸田露伴と儒学 | 直方高校 | 徳満 澄雄 |
| 無常観、無常感 | 福岡女子大学 | 瀬里 広明 |
| 地方文学研究の提唱 | 九州大学 | 井手 恒雄 |
| 一第十回西日本国語国文学会総会並びに研究発表会 | | 中村 幸彦 |

(昭和35年11月19・20日於熊本大学)

九大関係の発表者は次の通りである。(発表順)
日本書紀における次濁音字の仮名の用法について

| | | |
|--------------------------|------|------|
| 文構造よりみたる助詞を、の、がの力動関係について | 九大学院 | 原口 裕 |
|--------------------------|------|------|

| | | |
|------------------------|--------|-------|
| 古代日本語の音節結合について | 宮崎農業高校 | 秋田 義昭 |
| 小林秀雄のドストエフスキー論の獨創性について | 九州大学 | 福田 良輔 |

| | | |
|-----------|------|-------|
| 松平文庫資料の紹介 | 直方高校 | 瀬里 広明 |
| | 九州大学 | 中村 幸彦 |

| | | |
|----------|------|-------|
| 中島広足の国語学 | 九州大学 | 春日 和男 |
|----------|------|-------|

受贈雜誌目錄（昭和三十五年九月～昭和三十六年一月）

- 國語国文（京都大学国文学会）九号、十号、十一号、十二号
 文学（岩波書店）十月号、十一月号、十二月号、昭和三十六年一月号
 国学院雜誌（国学院大学）六月号、七月号、八月号、九月号、十月号、十一月号
 國語と国文学（東京大学国語国文学会）六月号、九月号、十月号、十一月号、十二月号、昭和三十六年一月号
 文化（東北大学文学部）二十四の二、二十三の三、二十四の三
 國語学（国語学会）四十一、四十二
 アメリカカーナ（米国外交館文化交流局）六の九、十、十一、十二、白路（白路社）九月号、十月号、十一月号、十二月号
 学苑（昭和女子大学光葉会）九月号、十月号、十一月号、十二月号
 和歌文学研究（国学院大学 和歌文学会）十号
 近世文芸稿（広島近世文芸研究会）三
 国文（お茶の水女子大学国語国文学会）十三号
 文学研究 近世文学特集（日本文学研究会）三
 国文学 解釈と教材の研究（学燈社）十月号、十一月号、十二月号、昭和三十六年一月号
 開学十周年記念論文集 人文科学篇（島根大学 書院部紀要（宮内庁書院部）十一号）
 肇国（肇国神祇連盟）盛夏号、九月号、十月号、十二月号
 人文研究（大阪市立大学文学会）十一の七、八
 立命館大学（立命館大学人文学会）八、九、十、十一、十二月号、昭和三十六年一月特集号
 国文学解釈と鑑賞（至文堂）十月号、秋の臨時増刊号、十一月号、十二月号、昭和三十六年一月特集号
 國語研究（国学院大学国語研究会）十号、十一月号、十二月号、昭和三十六年一月特集号
 国文学 言語と文芸（明治書院）十月号
 季刊 文学・語学（全国大学国語国文学会）十七号、十八号
 樟蔭文学（大阪樟蔭女子大学）十二号
 愛知大学文学論叢（愛知大学文学会）二十輯
 かがみ（大東急記念文庫）四号
 国文学研究（早稻田大学国文学会）二十二集
 名古屋大学国語国文学（名古屋大学国語国文学会）六、七
 万葉（万葉学会）三十七号
 近世文芸（日本近世文学会）五号
 甲南大学文学会論集（甲南大学文学会）十二
 山口大学文学会誌（山口大学文学会）十一の一
 季刊国語教室（国語教室友の会）十四号
 国学院大学日本文化研究所紀要（国学院大学日本文化研究所）七輯
 詩誌 地殻（地殻社）十四、十五
 音声学会会報（全日本音声学者総合学会）一〇四号、一〇五号
 王朝文学―梁塵秘抄特集（東洋大学王朝文学研究会）四号
 上代文学研究会会報（東洋大学上代文学研究会）六号、七号
 女子大国文（京都女子大学国文学会）十九号
 研究論文集四 源氏物語古系図と物語の形態（岩下光雄）
 國語学・国文学試論（武蔵野文学会）第五号

ビブリア三十周年古辞書特輯(天理図書館) 十七

文芸評論(外国為替情報社文芸部) 七

国語国文学報(愛知学芸大学国語国文学会) 十二集

成城文芸(成城大学文芸学部研究室) 季刊二十三号、二十四号

文学論藻(東洋大学国語国文学会) 十八号

国語教育(初音書房) 六号

京都府立大学国語国文学会誌(京都府立大学文家政部国語国文学研究
究室) 二号

平安文学研究(平安文学研究会) 二十五輯

関西大学文学論集(関西大学文学会) 十の三

国文学叢(広島大学国語国文学会) 二十四号

アテネウム(アテネウム発行所) 八

資料目録(同志社大学人文科学研究所) 七の三

国文学(関西大学国文学会) 二十九号

国語国文研究(北海道大学国文学会) 十七号

能楽思潮 十四・十五

文芸研究(日本文芸研究会) 三十六集

りてらえ・やぼにかえ(日本書房) 第四号

編集後記

■ 本年は「語文研究」創刊号以来十年目、復刊二号以来六年目にあたる。ひところは天災なみにたとえられたこともあったが、この一、二年の順調な刊行状態はまことによろこばしい限りである。

■ すでに、創刊号、二号、八号、十一号は品切となり、増刷した十号(訓点特集号)も残り少なくなった。需要の多いことも嬉しいが、本誌の消長は一に会員の活発な研究と投稿によること論をまたない。春日遅々、世相はあわたたしいが、力を合わせて本誌の発展に努めよう。

■ なお本誌発行の費用については、研究室員のアルバイトによる若干金額の寄贈を得た。(森山 記)